

学位論文の要旨

所 属	乙 三重大学大学院医学研究科 外科系眼科学専攻	氏 名	福喜多 光 志
主論文の題名			
Retrobulbar hemodynamic effects of nipradilol in normal and normal-tension glaucoma eyes			
主論文の要旨			
目的: ニプラジロール点眼液が後眼部血流動態に与える影響を調べる			
方法: 正常人 13 名 13 眼と正常眼圧緑内障(Normal tension glaucoma, NTG)患者 10 名 10 眼を対象とした。正常人ではニプラジロール点眼を片眼に、対眼にプラセボを 1 週間点眼し、投与開始 2 時間後と 1 週間後に超音波カラードップラーによる後眼部血流の評価を行った。NTG 患者では、患眼にニプラジロールを点眼し、2 時間後と 1 ヶ月後に超音波カラードップラーによる後眼部血流の評価を行った。			
結果: 正常眼では、点眼開始 2 時間後の耳側短後毛様動脈(PCA)において、血管抵抗を反映する指標である resistance index (RI) が、統計学的有意に低下した。開始 1 週間後では眼動脈において RI が低下した。プラセボ投与眼では変化は認めなかった。NTG 眼では、開始 2 時間後と 1 カ月後の網膜中心動脈・耳鼻側 PCA において RI の有意な低下を認めた。			
結論: ニプラジロール点眼は、正常人・NTG 患者双方において、後眼部血流を改善する。この効果は投与後短期間で発現することが明らかとなった。			